

高齢者「安否確認サービス」と防災機器「からくり地震時計」が好評

通信を活用した 公共性の高い事業を展開

アートデータ

アートデータ(世田谷区代田、小林明夫社長、03・5790・5300)は、ひとり暮らしの高齢者向けに同社独自の安否確認装置を使って、親と子供を結ぶ「安否確認サービス」を提供している。見守り・安否確認のパイオニアとして、このテーマに取組んで17年目になるが、特に、住居に備え付ける見守り装置としてマットセンサー、冷蔵庫センサーなどが人気である。問い合わせが殺到しており、自治体でも導入が進んでいる。

同社の安否確認方法は、ひとり暮らしの高齢者の生活習慣を本人へは意識させずに毎日遠隔地側でモニタリングできるように工夫してある。例えばトイレや冷蔵庫の利用状況を電話回線ですの都度メールで送り、毎日の健康のしるしとしてトイレを使っているか、台所に立っているか、冷蔵庫を使っているかなどの使用状況を把握できる。そして、生活状況が変わり、利用が減ってくると警告の



天災から命を守る「からくり地震時計」

メールを家族やヘルパーに知らせる仕組みとなっている。インターネットは使わずに電話回線で送る仕組みのため、新たな契約や通信費が一切かからず人気が高い。

もう一つの人気商品として、「からくり地震時計」がある。これは、強い揺れの地震が予測された際に地域別に放送される「緊急地震速報」や、津波・河川等の警報情報が放送される「緊急警報放送」を電波で自動受信し、周囲に音声で知らせることができる室内用防災機器で、学校や老人ホーム等、数多くの施設から問い合わせがある。

通信を活用した公共性の高い事業を展開している同社。「世のため人のため、どこまで社会の役に立てるか挑戦していきたい」と小林社長は語る。

詳しくはホームページにて

<http://www.artdata.co.jp>



「世のため人のため、社会のお役に立ちたい」と小林社長